

2001-2002



# 岐阜中週報

会長 大 洞 長 栄  
幹事 加 藤 義 明  
発行者 ウェブ委員会  
委員長 長 井 義 夫

平成 14 年 1 月 29 日(火)  
第 462 号  
第 538 回例会

**MANKIND IS OUR BUSINESS**

人類が私達の仕事 R.I.会長 リチャードD・キング

例会 毎週火曜日 12 時 30 分  
会場 岐阜ルネッサンスホテル  
事務局 岐阜市神田町 2-2  
電話 264-9235 番

## 副会長挨拶

森 益男

「七年目の震災記念日を迎えて」  
去る1月17日は阪神淡路大震災の7年目の記念日という事で地元だけでなくマスコミ等でもいくつかの番組が取りあげていたようです。1月16日の「クローズアップ現代」でも神戸の復興に今尚取り組む、長田地区の人々を取材していましたが、その番組を見ながら、フト昨年私の母が訪れた東欧旅行の話を思い出しました。ヨーロッパの古い都市が石やレンガで造られているのは皆さんご存知の通りですが、第二次大戦によって文字通りワルシャワの中心部は瓦礫の山と化した訳です。戦後50年以上が経って、もうとっくに復興は終わっていると思うのは日本人の感覚で、現地ではまだ営々と復興の作業が続けられているらしいのです。私が感心するのは“復興”ということに対する町の人々の姿勢です。番組の中で長田地区の人々は自分達の心の寄り処であると共に命の大切さを教えてくれたアーケードを保存しようと運動を始めていますが、

今一つ盛上りに欠ける様です。

時代、戦争と大地震、石造文化と木造文化の違いはありますが、町の人々が集う心の原点とも言える広場とアーケード。

“皆で集まって生きる”ことの意味を考える時、速さだけでなく、ゆっくりと人の気持ちを繋いでゆく何かが必要ではないかと思いました。皆さんはどうお感じになりましたでしょうか。

## 幹事報告

幹事 加藤 義明

岐阜北RCが3月17日(日)創立20周年記念事業の一環として、岐阜市民会館大ホールにて、ファミリーコンサートを開催されます。多数の方のご参加をお願い致します。

直前幹事

石田 勝俊

前年度のクラブ年次報告書が出来ましたので、配布させていただきます。これでやっと肩の荷が取れました。

## クラブフォーラム

会長エレクト

勝野 和男

クラブに対する要望、意見を各テーブルごとのバズセッションで行った。

## テーブルリーダー 安藤 元一

『例会について』

- 半年ごとにテーマを決め、卓話を実施してはどうか。
- 原則的には外部卓話を多く実施して望しい。
- 映像を混じえた変化ある例会開催を望む。その為にプロジェクターなどをクラブで購入してはどうか。

『夜間例会について』

- 親睦委員会にもっと一任してはどうか。
- 夫人同伴の回数を年最低2回くらい実施してはどうか。
- 夜間例会日は出来るだけ参加しやすい日にして望しい。
- 四季に合わせた夜間例会をお願いしたい。
- 通常例会とは違い、より一歩踏み込んだ交流が図れる機会だから、一泊例会を含めた企画があってもよいではないか。

『会員増強について』

- 会員の退会防止にむしる力を注いだらどうか。
- 出席について：欠席者を公表する

## 前例会の記録

平成14年 1月 22日(火)

[点鐘]12時30分

[ソング]それでこそロータリー

[ゲスト]

[ビジター]

荻野 泰孝 君(岐阜RC)  
他3名

[出席]会員総数50名

(出席免除0名、猶予0名)

本日出席33名 67.35%

[行事]会長挨拶・食事・幹事報告・委員会報告・ニコボックス報告

[卓話]「クラブフォーラム」

担当 会長エレクト

## 次回予定 第539回

平成14年 2月 5日(火)

[点鐘]12時30分

[行事]お祝い行事

米山奨学生卓話

担当 出席委員会

などして、できるだけ欠席者の予防策を考えた方が良いのでは。

**テーブルリーダー** 加藤 一誠

**テーブル参加者**：川島 田辺 安田

上松 窪江 大島 林

『卓話/例会』

- 会員卓話を多くする。 会員の職業の紹介、職業観の話等
- 外部に依頼する場合でも身近なテーマを選んで欲しい。
- 決まった時間内で終了するのは無理がある。早く終わる場合、かなりの時間オーバーすることがあってもよいのではないかな。
- 卓話中の私語が多い。卓話者に対するマナーに欠ける。
- 卓話時間を多く取りたい時は委員会報告等は次週へ送る。

『夜間例会/親睦活動』

- アトラクションなどは外部に依頼するのではなく、内部で工夫して親睦を図りたい。
- IGMを復活すべきではないかな。

『出席』

- 出席時間を人によっては柔軟に運用できないかな。

**テーブルリーダー** 中根 辰朗

**テーブル参加者**：故金 馬淵 長井

大橋 佐藤 篠田日出男

『卓話に代表される例会の在り方』

- 会員卓話は1 2回で種切れ可能性大につき、外部卓話を多くしてはどうか。
- 卓話中の聴き方のマナーが如何にも悪すぎる。卓話者に大変失礼。直すべき。
- テーブル席が固定化されてきた。SAAを中心として、固定化された席を、最低月一回でもよいから変えるような検討が必要。例えば、席決め標準(誕生月・星座・血液型別等々)を作ってみる等。
- 例会出席の楽しみを作り出す方策の検討等。
- 2ヵ月に一回くらいテーマを決めたグループミーティングなどはどうかな？
- 例会そのものがマンネリ化しつつある。この対策が重要。

『親睦活動について』

- 夫人同伴の夜間例会を増やせないかな？
- 同好会活動のうち、ゴルフ・ツーリング同好会で年一回くらいは全員参加型つまりゴルフ同好会で過去に一回実施した「岐阜中オープン」のような形の活動を検討する必要はないかな？

- 月一回親睦を兼ねた食事会の検討は如何。行事は会長挨拶・幹事報告のみとして。

『会員増強・出席率に対する考え方』

- 会員増強については、クラブそのものがというより会員全員が危機感を持って対応しないと「じり貧」状態になるおそれあり。会員の皆さんがその気になれば、この状況の中でも、年間5人くらいは増強できるのではないかな。
- 月間出席届の義務付けと無断欠席者に対する食事代支払いの義務化。徴収者は出席委員会又はSAA。

**友情と奉仕の灯を  
スマイルボックス委員会**

川出 良治 君

荻野 泰孝様ようこそおいでいただきました。又、お名前を間違い大変失礼致しました。今後共宜しく願い申し上げます。

**故金 正司 君**

ロータリーバッヂをつけて出席しませんでした。罰金です。